



ほしなが
星永

ふみお
文夫

概要

氏名 星永 文夫
推薦団体 熊本県文化協会
主な活動地 県内各地

本賞

星永文夫氏は、現代俳句の作家として活動されており、その磨き抜かれた表現力と、読む人の心に語りかけるような作品は高い評価を得ています。

氏は、俳誌「罪罪^{ひび}」の代表を務め、昭和五十八年の刊行以来、主宰者として句作や編集、指導等を行ってこられました。また、句集を数多く刊行し、昭和六十一年には、句集『幻日環』で熊日文学賞を受賞されています。

さらに、平成二十七年七月にも、熊本に縁の深い「種田山頭火」を題材とした『山頭火私記』を上梓し、現代俳句会の現役リーダーとして精力的に活動されています。

また、県内各地の文化施設で文学講座や俳句会の講師等を精力的に務めるとともに、熊本県文化協会・文化懇話会で役職を務めて後進の指導にも取り組むなど、俳句の普及発展にも尽力してこられました。

このように、氏は、俳誌や句集の刊行、俳句の普及活動を通じて、本県の文化振興に大きく貢献されています。

これまでの主な活動歴

昭和四十三年	句集『100/67』刊行
昭和四十四年	句集『68夏』刊行
昭和四十六年	俳誌『海程』 新人賞準賞受賞
昭和四十八年	句集『狼祭』刊行
昭和五十年	句集『肥後飢餓講』刊行
昭和五十八年	季刊俳誌『罪罪』創刊
昭和六十一年	句集『幻日環』 熊日文学賞受賞
平成十年	句集『色塵』刊行
平成十五年	句集『熊襲派』刊行
平成二十四年	選句集『あらっこいしょ』刊行
平成二十五年	熊本県芸術文化功労者賞受賞
平成二十七年	随想集『山頭火私記』刊行